

様式第2号（政務活動実施報告書）

平成30年2月21日

井原市議会議長

西田 久志 様

井原市議会議員

上野 安是

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実 施 期 間	平成30年2月7日（水）～8日（木）
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	宇佐市 直方市
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	大分県宇佐市 ・議員発議による条例の制定について 福岡県直方市 ・リサイクル事業の推進について
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	宇佐市 大隈副議長、尾方主幹（総括）議事係担当、佐藤事務局員 直方市 篠崎課長、永芳係長
5. 活 動 内 容	別紙の通り

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。

2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。

<大分県宇佐市議会>

1 議員提案による条例の制定について

○ 委員会の発議により平成28年12月21日に制定された「千年ロマンへの想いをほせ、海の幸、山の幸、自然豊かな宇佐のチカラの恵みを未来へと継ぎ広めろ条例」について説明を受けた。

○ 条例の特異性として

① 議員提案により制定された宇佐市初のまちおこし関係の自主条例

② 日本一長い名称(47文字)の条例

↳ 議員提案により制定された条例としては

新感 6条からなるシンプルな条例で「みまが」前文にあはての思いが網羅されており、推進推奨条例としてしっかり根づいたものであった。

市、生産者、事業者、市民の役割をそれぞれ「まが」果たしていけば、条例制定の成果は、余りあるものとなるはずである。

前文中の「千年ロマンに想いをほせ……放生会の囀子の音が胸に響く。」に、未来への夢が感じられる。

<福岡県直方市>

リサイクル事業の推進について

○ 平成18年から直方市役所環境業務課施設内に「資源拠点回収場所」を設置し、資源リサイクル回収を実施している。(平成28年度は約707トン回収)

○ 専用の容器を配り、市内14地区、おまむね25世帯に1か所設置、登録制で、月に1回収集

今年14地区へ出向いて「ごみ減量化」「資源化」の出前講座

感想

回収拠点場所は、[手厚中央]にあり、誰でも気軽に
持ち込むことができて、明るい雰囲気であった。

各地区への回収容器は、分別器各々、大きく記載
されており、とてもわかりやすいものであった。

保存版の「なごほとごみ資源ブック」のオールカラー版
で、かつ親しみやすくわかりやすいものとなっていた。

市民の方の「減量化」「資源化」意識を継続して
いくには、情報をきめ細かくし、わかりやすく伝えること
が「必要だ」と感じた。

以上